

ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



百笑一姫の
Fukuがある
ネットワーク
のロゴマーク



二人三脚でアスパラを育てている鈴木さん(右)と夫の敏行さん

▶ふくしま農業女子ネットワーク(愛称:百笑一姫♡Fukuがある)メンバーの思いや農作物、ネットワークの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加メンバーや応援団となる企業・団体も応募も受け付けています。URLは<https://www.fuku-girl.jp/>

問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



すずき
鈴木 侑香さん(福島市)

二人三脚 新たな人生

アスパラガスは特殊な野菜です。一度植えると10年以上持ちますが、1年では大人になりません。3年目からが本番。太いものを収穫できるようになるには4~5年かかるといわれています。

去年の6月に夫と2人で手のひらほどの大きさの苗を植えました。毛のように、か細い茎は弱々しく、すぐに枯れてしまうかと思いましたが、想像に反して大きく成長してくれました。この春、土の中からアスパラガスが顔を出した時は感動! 楽しみにしてくださる方がいる限り、真面目に丁寧に手入れをしています。

就農して3年がたちました。6年

前に嫁いだ夫の実家は果樹農家でした。結婚当初、夫はフランス料理のコック、私は事務の仕事をしており、就農の予定はありませんでした。両親の年齢のことなどを考え、夫が農業を継ごうと決心したのが3年前。夫婦で新規就農者として新しい人生を踏み出しました。現在はアスパラガスや米、リンゴを栽培しています。崖から飛び降りる気持ちで始めた農業。たくさんの方々の応援のおかげで、ようやく地域になじめるようになってきました。農業は季節を感じられたり、自分のペースで仕事ができたりと、良いことがたくさんあります。一番の醍醐味(だいごみ)

は自分で育てた野菜や果物を一番先

に食べられること。アスパラガスも採れたては甘く柔らかく、濃厚! ベーコンと一緒に炒めて食べるのが大好きです。汗を流した後に食べるご飯も格別。自然と筋肉がつき、心身ともに調子が良くなりました。体が資本の職業。これからも「元気に明るく」をモットーに、夫婦二人三脚で農業を楽しんでいきたいです。

◆プロフィール◆ 福島市飯坂町の果樹農家4代目の嫁。夫と、夫の両親との4人暮らし。実家のモモを手伝いながら、夫婦で米やリンゴ、アスパラガスを栽培。作物や加工品を直売所などで販売中。「みちのくの里オンラインショップ」でも販売予定。facebook

ook (facebook.com/shinsen.asupara)で情報発信中!